

水か金か?

水を忘れて 金に支配される

現代人の悩み

是非讀ませたいこの注文

去る十四日の東京朝日學藝欄に掲載された最近の感想としての尾竹竹坡氏の『水と金』を、發電所不當許可問題に悩まされて居る平全町民殊に平電氣企業社の重役に讀ませたいとの投書を言行一致生の匿名を以て寄せられた方が左に其記事を採録する。

人間は水を飲んで生きてゐる、金を得て生きてゐる、水と金とが人間生活のすべての基礎であると言へる、それ程金は

人間の生命をまで司るやうになつてゐる、人間は常に一日もその生命の維持に水を欠くことが出来ないものであると等しく、金も欠くことの出来ないものと思つてゐる、いやむしる水の

必要さ。をまるで意識してゐない時でも金の必要さ、と言ふよりも欲しさ、を忘れてゐることはない、考へると不思議である、水は第一義的の者であり金は第二義的の者であること、とは言ふまでもあるまい、

けれども事實としては、それは常に反對である、人間はどんな時でも必要以上の水を求めようとしなかに拘らず金の場合には常に奪ひ

争ひ闘つてゐる、すべての行動が金のための行動である、人間は水をのんでゐる、水を使つてゐる

けれども人間は、金には使はれてゐる、のまれてゐる人間が金を

司配するのではなく、金が人間を司配するのだ、

本紙投稿家の小集を催す

本紙投稿家の小集を催す

本紙投稿家の小集を催す

本紙投稿家の小集を催す

本紙投稿家の小集を催す

本紙投稿家の小集を催す

放ではない、束縛である、幸福ではない、不幸である、そして今は總の人間が金の司配下にある敢て言ふ現代人は不幸である、すくなくとも文化を口にす資格はない、眞に人間が幸福になり得るのは恐らく人間對金の關係が今の逆の状態人間對水の場合と等しくなる時であらう、そしてそれはいつのことか。

多くの知己を得て 輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

輝かしい會合に

城炭礦を見學し平町の消化栓を視察して四倉に泊明日歸福する由

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

町長一行上京

中心とした投稿家小集を催す事になつたのである、是非當日は一人でも多くの知己を得て輝かしい會合を見る事の出来る様に奮つて御出席を希望する

進行中の 瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

瀧車

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付

不平受付